

地域で大殿中生徒のプライドを育てる活動

山口市立大殿中学校

はじめに

本校の校区は、地理的には山口市の中央部に位置し、山口盆地、一の坂川の扇状地及び榎野川氾濫原を含む地形が見られる。歴史的には大内氏が活躍した時代の拠点であり、「西の都」といわれていた。また、幕末維新の史跡、近代建築など、山口の歴史文化を物語る数多くの遺産も今なお保存・保護されており、政治・文化の中心地としての地位を占めていたことがうかがえる。



校区には県庁を中心として官公庁が多く、山口県の政治・文化の中核をなす地域であり、静かで美しい環境に恵まれている。校区の人口は約8,000人で、世帯数約4,000戸。保護者は公務員・会社員が多く、概して教育に対して関心が高く、学校教育活動にも概ね協力的であり、地域も学校に対する期待が大きい。

□校訓 「独往自立」

□学校教育目標 「ふるさとを愛し、国際社会で活躍する生徒の育成」

特色ある行事・活動

「OTK(大殿地域に貢献し隊)」によるボランティア活動

「ふるさとを愛し、国際社会で活躍する生徒の育成」という学校教育目標のもと、各行事を実施している。特に、生徒が準備や練習に主体的に取り組む体育祭、地域の伝統文化である山口鷲流狂言の伝承や生徒たちの独創性を生かした文化祭、クラスが一致団結して取り組む校内合唱コンクール等で、生徒たちは達成感や充実感を味わっている。

また、平成24年度以降、生徒会の発案で始まった「OTK(大殿地域に貢献し隊)」によるボランティア活動は、地域から大きな期待を寄せられており、生徒たちも地域の一員としての自覚をもって積極的に取り組んでいる。チャレンジ目標「情感を培い、自他の幸せを考える」、の下、さまざまな活動をとおし、一人ひとりが目的意識をもち、主体的に関わり、意欲的に活動することで、「生きる力」を育んでいる。

大殿地区運動会運営協力	5月 14日	雨天中止
1学期クリーン作戦	7月 6日	雨天中止(校内に変更)
小学生宿題やつつけ隊	7月 26日 27日	
大殿ちょうちんまつり協力	8月 4日	
こどもと遊ぶ&お弁当配付手伝	8月 29日	
大殿地区敬老会協力	9月 18日	
夢回廊	10月 7日	
大殿ふるさとまつり参加	11月 12日	
2学期クリーン作戦	12月 15日	



大殿ふるさとまつり



子どもと遊ぶ

山口鷲流狂言

大殿地区に伝わる鷲流狂言を毎年、2年生の生徒の中からボランティアで数人選び、活動している。保存会の「米本太郎様」が、1学期に鷲流狂言の歴史や活動をご説明くださり、夏休みからは週に1回、野田神社の舞台上で練習をしている。本校の「文化祭」と地区の「大殿まつり」で発表している。



今年度の活動の経緯

～大殿五か条を【みんしあちゃん】で宣伝する。～

山口市が進めている「小中一貫教育」の中で、「大殿小中は一つ」という理念の下、大殿中学校学校運営協議会での熟議（大殿中学生、学校運営協議会委員、教員の参加）を経て、「大殿五か条：挨拶・礼儀・感謝・地域貢献・挑戦」を制定した。そこには、大殿小学校の校訓である「しんあい・きまり・まごころ」も反映している。この五か条を浸透させ、それを実践するために、まず、大殿中学校のマスコットキャラクターである「みんながしあわせ みんしあちゃん」を活動させることにした。



「みんしあちゃんとは・・・。」

みんなが幸せになるような「笑顔・やさしさ・助け合い」などをオレンジの帽子（壺）に入れている大殿中学校の中庭にする妖精。平成27年に子どもたちがアイデアを出して決定し、さまざまな場面で登場させている。

みんなが幸せになるような活動を自分が実践することは、自分自身や周囲の人を明るく幸せにするという素晴らしい理念であるということで、生徒の共感を得ている。

みんしあちゃんを宣伝大使とし、「大殿五か条」を小中学校・地域に広く浸透させるためのグッズとイラストを大殿中学校生徒に広く募集し、その中で、今年度は、「みんしあちゃん」のクリアファイルを作成し、小中学校と中学校の学校運営協議会委員や地域に配布した。また、「大殿子ども会議」を開催し、今後の活動についても小中学生と学校運営協議会委員の方で話し合った。



(左)
みんしあちゃんの
クリアファイル
(中央・右)
大殿子ども会議

